

【J A麻植郡自己改革取組宣言】

これまでも、これからも、地域とともに
J A麻植郡は総合事業を展開します。

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織であり、協同の精神である相互扶助にもとづく「共助」の結合体ともいえる組織です。

そして、J Aは農業者（正組合員）と農業者とともに地域農業を支えるもの（准組合員）が組織する協同組合です。組合員の営農と生活を支える為、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的として、農畜産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）など様々な事業を通じて総合的に結び付け、地域づくりに取り組んでいます。

地域農業の振興には、信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで事業運営をしているからこそ、J Aの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業関連施設への投資が可能になります。正組合員のみならず准組合員の事業利用が地域農業の振興の一助となり不可欠です。

J Aはこれからも総合事業を通じて、組合員・地域の皆様とともに地域の農業や暮らしを守り、協同の精神を次代につなげるための活動に取り組んでいきます。

具体的な取組みは、第2次中期経営計画をご覧ください。

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けたJ Aの主な取組みを紹介します。

- 「儲ける農業」の実現
 - 《収入アップへの取組み》
 - 省力化支援機能を強化し、重点品目の増産を目指します。
 - コールドチェーン(低温流通体系)を生かした直販による有利販売を目指します。
 - 《経費ダウンへの取組み》
 - 仕入制度の改革により購買品の安価供給に取り組めます。
 - 大口値引き制度を充実し、大口利用者対応を強化します。
- 担い手サポートの充実
 - TAC体制を強化し、それぞれの担い手ニーズに応じたサポート機能を充実します。
 - また担い手総合支援を行います。